

高津高校 SSH 通信



台湾サイエンスツアー

第1回事前研修

5月31日(土)高槻市の芥川にて、台湾サイエンスツアーの第1回事前研修を実施しました。本校では、12月に台湾の交流校を訪問して合同河川環境調査を予定しています。それに向けて今回は、河川環境調査を初めておこなう生徒たちに、入門編として化学的水質、底生生物、魚類の3分野の調査を専門家の指導の下で経験してもらいました。

化学的水質は、測定器やパックテストを用いて、pHや電気伝導度、CODや硝酸態窒素、リン酸態リンなどについて測定し、その結果が意味することを学びました。底生生物は、小型のたも網やピンセットを用いて、川底の石などに付着している生物を収集し、種の同定とそれぞれの生物の特徴を学びました。魚類は、たも網や投網を使って岩陰や、岸部、流れのはやい部分など様々な場所で魚を捕獲し、種の同定とそれぞれの生物の特徴を学びました。

どの分野についても、生徒にとっては初めての道具、初めての作業（特に投網は難しかったようです）なのでわからないことだらけですが、専門家の先生の指導によって、全員が河川環境調査について一通り学ぶことができました。次回は、担当する分野を決めて、より専門的に学ぶ予定です。



文責：理科 小野